

シラバス参照

開講年度	2016
科目名	寄付講座
職名／担当教員	経済学部 教授 望月 宏
期間／曜日／時限	後期 木曜日 2時限
開講区分／校舎	一部生田／生田
配 当	E W 2 3
単 位	2

講義内容	<p><到達目標> 地方自治体で実際に働いている職員の方から直接実態を伺うことで、地方自治、地方の経済、社会政策について基礎的な理解を深めることができる。</p> <p><講義概要> テーマ:川崎市役所特別講座（寄付講座） 新時代の都市振興</p> <p>この授業は、実際の地方自治体で働いていらっしゃる職員の方から、実態に基づき直接講義をしていただくという、日本の大学の中でもユニークで貴重な機会を提供する特別な講義である。</p> <p>都市は、経済・社会活動の受け皿であると同時にその活動そのものの集積でもある。従って、都市の活力を高めていくためには、様々な側面からの変化の対応、経済主体への対応が必要となってくる。川崎市は特に首都圏の中であって、その都市の変容、都市振興を先端的に切り開いている都市である。すなわち全国の政令指定都市の中でも製造業の高度化を進めながらも、一早く知識産業型産業への転換を図るとともに、世界のモデルとなりうる環境対策を進め、今後とも人口の伸びも期待できる稀有なポテンシャルを持つ都市である。本講では、経済・社会等々様々な側面の様々なニーズに都市政策サイドがどのように対応し、将来を見据えた活動をしているかを、川崎市役所職員を中心としたオムニバス方式で講義していく。</p> <p>この授業は地方の役割が大きくなる時代にあって、その実態を知る上で貴重な機会を提供するとともに、特に地方自治体職員を希望する人たちにとってまたとない授業であり、強く受講を薦める。</p> <p><講義計画>（本年度は夏休み明けに決定するがほぼ同内容の予定）</p> <p>毎年以下のようなテーマを主軸とする（年によって異なる）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 21世紀をリードする川崎市の将来像 3 川崎市の財政 4 大都市統計比較年表からみた川崎市新たな大都市制度について 5 川崎市の都市計画とその整備方向 6 川崎市の危機管理 7 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の取組－羽田国際化と臨海部－ 8 川崎市の港湾政策 9 福祉産業の振興 10 生活保護の現状と自立支援対策 11 川崎市の文化・芸術 12 環境政策の課題と対策 13 川崎市の産業構造の変遷と行方 14 川崎市の都市競争力をアメリカの都市と比較する 15 授業の総括 <p><教科書> 使用しない。</p> <p><参考書> 「川崎市総合計画」、「川崎の産業」、「市勢要覧」などの他、各回の講師が必要に応じて紹介する。</p>
成績評価方	

法・基準	以下の3点により評価を行う 一 全回出席を前提とする。 二 「毎回の授業のまとめと論考、感想、および講師からの課題への回答、質問」をネット上の掲示板に提出することが必要(80%) 三 期末における提出レポート(20%)
履修上の留意点	<p><受講前提条件・関連科目></p> <p>予習として、以下の資料を読んでおくこと。また、復習としては、授業用の私の研究室の掲示板に「毎回の授業のまとめ、論考、感想、講師からの課題への回答、質問」を提出することによって行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたっては、川崎市ホームページhttp://www.city.kawasaki.jp/ はもちろん、川崎市発行の諸資料、専修大学社会知性開発研究センター発行の川崎市白書等を参考にし、また日本経済新聞、神奈川新聞などの川崎関連の諸記事などに注意を払うように。 ・関連科目（経済学部学生）は、「都市経済論1・2」、「地域経済論1・2」、「地方財政論1・2」、「中堅企業論1・2」、「企業経済学1・2」、「情報経済論1・2」など。
担当教員へのアクセス	教員用メールアドレス mochizukiphd@gmail.com
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各回講師は川崎市の第一線の方々ばかりでもあり、しかるべくマナー（遅刻禁止、出入り禁止、私語禁止）を励行すること。評価に影響する。
更新日付	2016/02/10 21:28